

三重県経済の動向（2026年1月）No.580

【現在の景気】 持ち直しの動きがみられる（※25年10月～12月の指標より（一部除く））

生産は前月比低下も、前年比は上昇。雇用は持ち直しの動きに足踏み。個人消費は持ち直し。

<当月のポイント>

- ・生産指数（11月）は前月比低下、前年比は上昇。輸送機械が半導体不足などの影響で低下、電子デバイスは前月比、前年比ともに大幅に上昇。
- ・常用雇用指数（10月）は3か月連続上昇、製造業では低下。人手不足感（11月）は高水準。
- ・百貨店・スーパー、ドラッグストア、家電大型専門店、コンビニの販売額（11月）は前年比増加。家計消費（11月）は3か月連続の増加。消費者物価指数（12月）は上昇幅が縮小。県民の節約意識（11月）は改善傾向。

【当面の見通し】 横ばい圏内で推移する

米国関税政策の日米間合意等により先行き不安感は一定薄れつつあるが、製造業では関税発動に伴うコスト増や海外景気の下振れなど一部影響の顕在化や、半導体不足の影響などを懸念。ガソリン・軽油減税など物価高対策が消費や業況を下支えも、内外の物価動向や利上げの影響を注視。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 (総合判断)	足踏み状態となってい る	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	→	—
1. 企業の景況感	足元は足踏み、先行き は持ち直しの動き	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	→	2
2. 生産	持ち直しの動きに足 踏みがみられる	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	→	3
3. 輸出	足踏み状態となっ ている	足踏み状態となっ てている	足踏み状態となっ てている	→	3
4. 設備投資	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	→	4
5. 企業倒産	横ばい圏内となっ ている	横ばい圏内となっ てている	横ばい圏内となっ てている	→	4
6. 雇用	持ち直しに足踏みが みられる	持ち直しに足踏みが みられる	持ち直しに足踏みが みられる	→	5
7. 賃金	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	6
8. 個人消費	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	持ち直している	↗	6
9. 住宅投資	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	→	7
10. 公共投資	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	持ち直しの動きがみ られる	→	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したもの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※2 採用指標は作成時点での最新値を使用している。

<担当> HRI 株式会社百五総合研究所 地域共創事業部 谷ノ上 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 県内企業の景況感

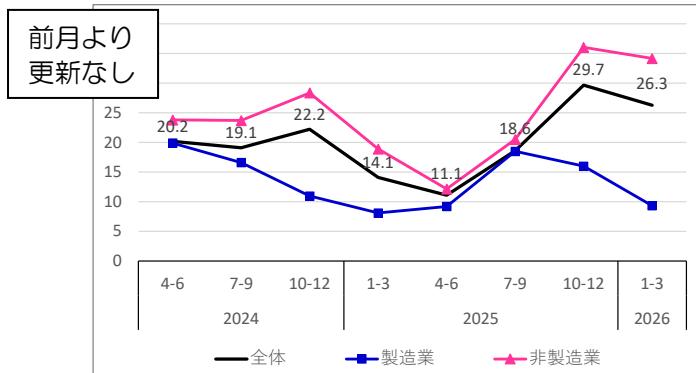
【現状】<持ち直しの動きがみられる>

- 当社調査（11月実施）では、25年10-12月期の業況判断DIは+29.7となり持ち直し。
- 法人企業景気予測調査（11月実施）では、10-12月期の景況判断BSIは、+0.8%ポイントの「上昇」超。

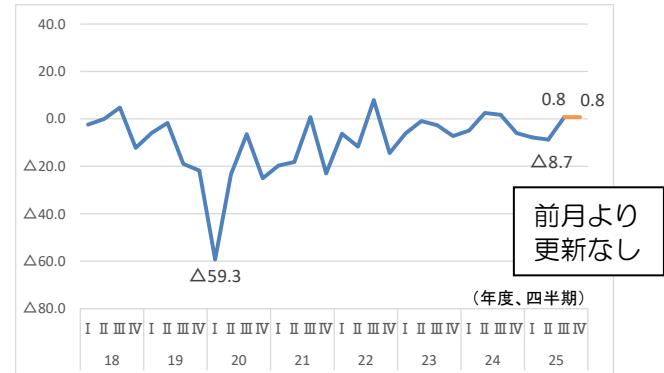
【見通し】

- 当社調査（11月実施）では、26年1-3月期の業況判断DIは+26.3となり、前期比やや低下も高水準の見通し。
- 法人企業景気予測調査では、26年1-3月期の景況判断BSIは、+0.8%ポイントの「上昇」超。

■業況判断D I (当社調査、11月実施)



■景況判断B S I (法人企業景気予測調査、11月実施)



資料：当社「業況に関する調査」(25年11月、236社)、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」(25年11月、127社)

(2) 景気動向指數

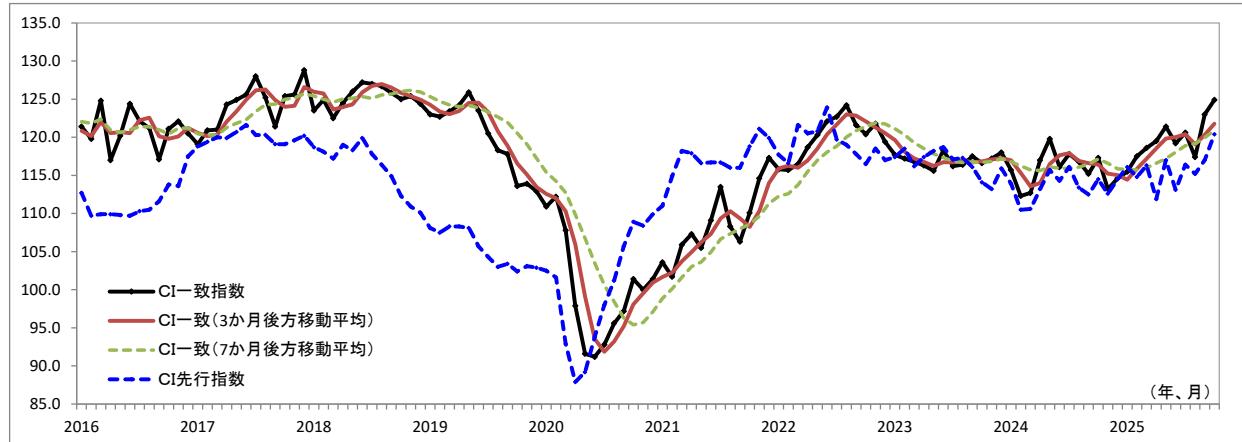
【現状】

- 10月の景気動向指數(C I)一致指數は、124.9で前月差+1.9ポイント。3か月後方移動平均(+1.44ポイント)は2か月連続の上昇、7か月後方移動平均(+0.90ポイント)は8か月連続の上昇となった。三重県が内閣府の判断基準に準じて判断した基調では、「足踏み」としている。

【見通し】

- 10月の景気動向指數(C I)先行指數は、120.4で前月差+3.4ポイント。3か月後方移動平均(+1.33ポイント)は2か月連続の上昇、7か月後方移動平均(+0.59ポイント)は2か月連続の上昇となった。

■景気動向指數 (C I) (2020年=100)



※複数の指標の動きを統合して单一指標で景気を把握しようとするものであり、すべての経済指標を総合的に勘案して景気を捉えようとするものではないことに留意する。「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

資料：三重県「三重県景気動向指數 (C I)」

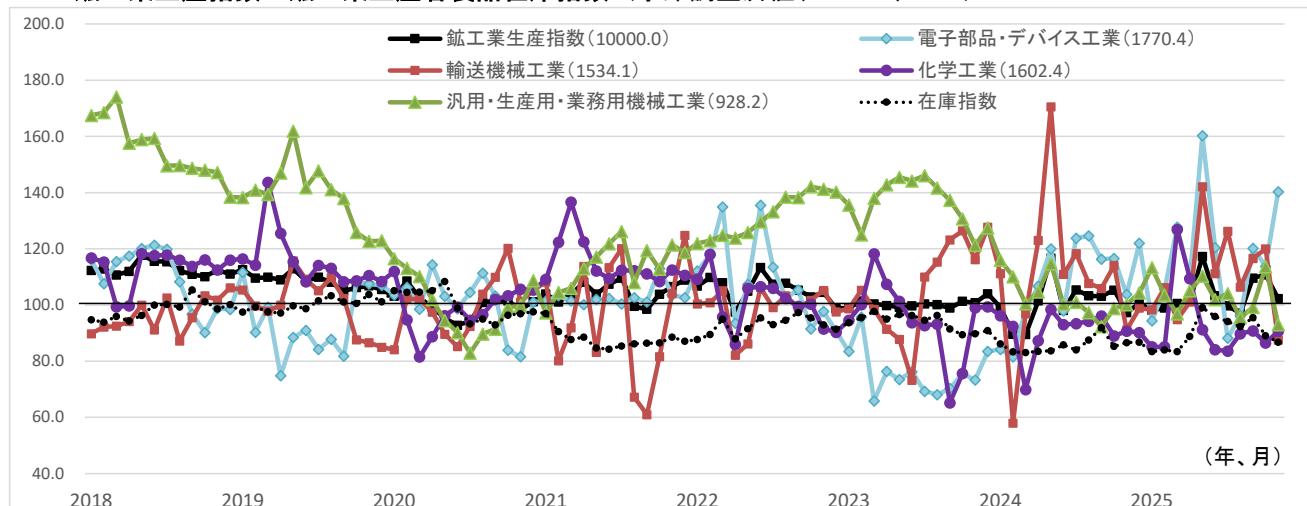
2. 生産

【現状】<持ち直しの動きがみられる>

○11月の鉱工業生産指数（季調済）は102.3で、前月比は△7.7%と3か月ぶりの低下、原数値は109.4で前年比+5.1%と3か月連続の上昇となった。

○生産指数を業種別にみると、輸送機械は、前月比△27.1%、前年比△3.9%といずれも3か月ぶりの低下。汎用・生産用・業務用機械も、前月比、前年比とともに3か月ぶりの低下となった。電子部品・デバイスは、前月比+23.3%、前年比+35.2%といずれも2か月ぶりの上昇。化学工業は、前月比2か月ぶりの上昇、前年比は横ばいとなった。原材料である生産財は、前月比2か月ぶりの上昇、前年比では3か月連続の上昇となった。

■鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指標（季節調整済値、2020年=100）



※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

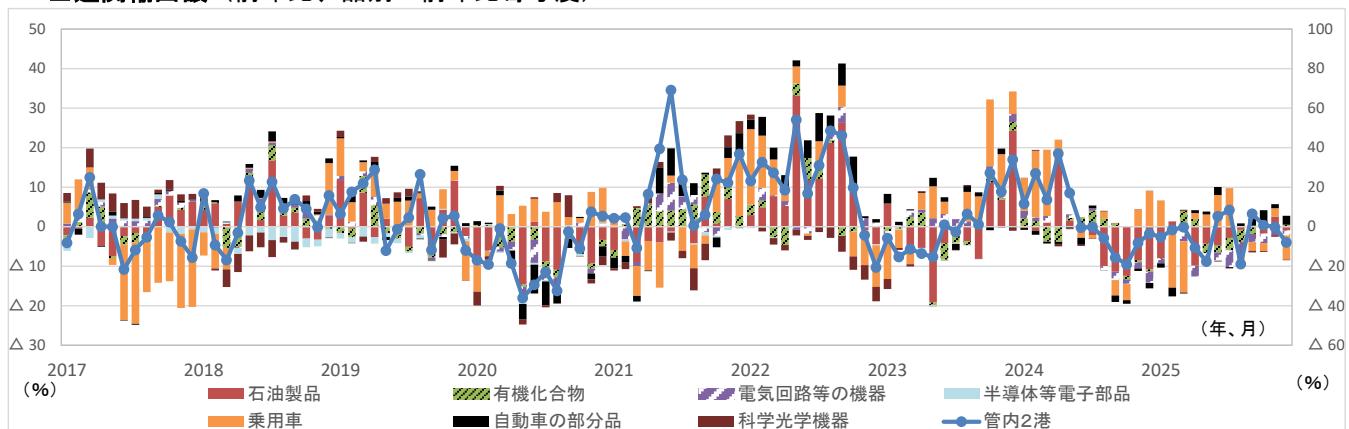
3. 輸出

【現状】<足踏み状態となっている>

○12月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比△7.9%と2か月連続の減少、主要港である四日市港は△7.9%と17か月連続の減少となった。

○四日市港の輸出主要品別にみると、有機化合物、プラスチック、自動車の部分品などが増加したものの、石油製品、一般機械、電気回路等の機器、乗用車などが減少した。

■通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。

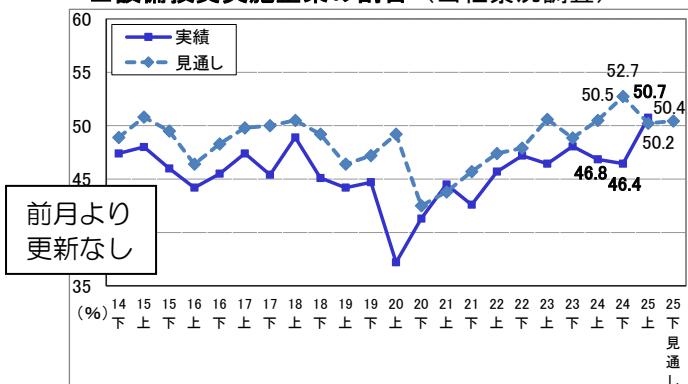
資料：四日市税關支署「管内貿易概況」

4. 設備投資

【現状】<持ち直しの動きがみられる>

- 当社景況調査（7月実施）では、25年度下期の設備投資実施（見通し）企業は50.4%と高水準の見通し。法人企業景気予測調査（11月実施）では、25年度投資額は前年度比+21.4%の増加見込み。
- 12月の貨物車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）は前年比+17.6%となり、3か月連続の増加。普通貨物（+8.1%）は2か月連続の増加、小型貨物（+35.4%）は4か月連続の増加、軽貨物（+13.8%）は5か月ぶりの増加となった。
- 11月の建築物着工床面積（非居住用）は前年比△67.7%、3か月移動平均では3か月連続の増加。
- 9月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比9か月連続の上昇。

■設備投資実施企業の割合（当社景況調査）

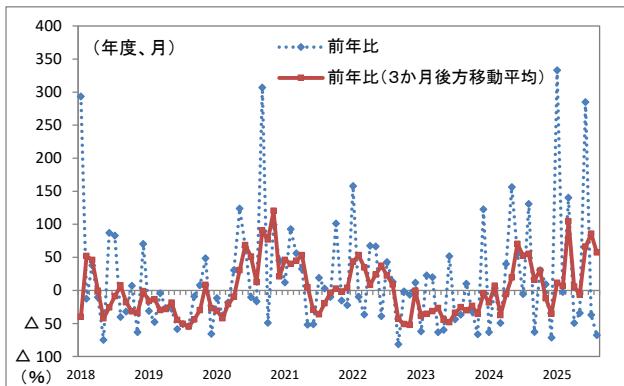


■貨物車新車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比）

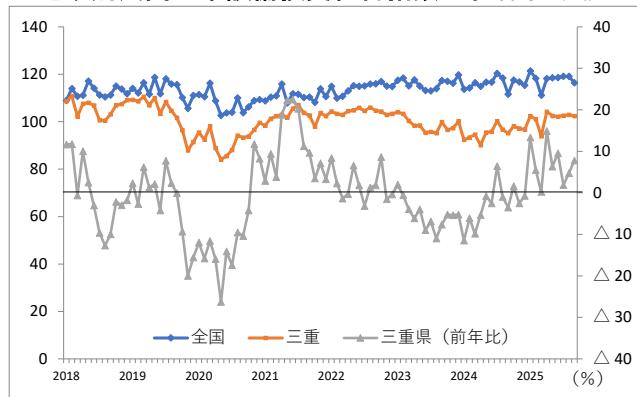


※資料：当社「景況調査」（投資額500万円以上）／三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■民間非居住用建築物着工床面積（前年比）



■地域別民間企業設備投資総合指数（季節調整済値）



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。

※資料：国土交通省「建築物着工統計」／内閣府「地域別支出総合指数」

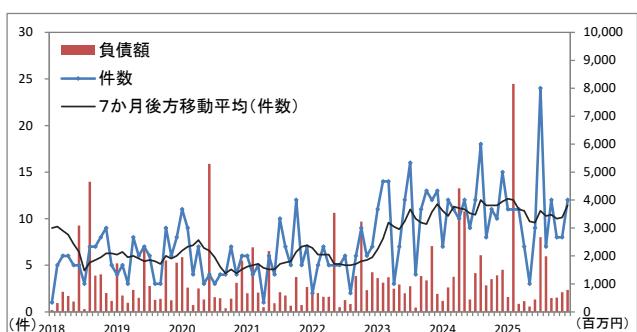
5. 企業倒産

【現状】<横ばい圏内となっている>

- 12月の企業倒産件数は12件（前年差△3件）、負債額は7億8千百万円（前年差△7億2千2百万円）となった。25年1月からの累計では、件数は前年比△8.9%、負債額は△11.3%となった。

※負債額1,000万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額

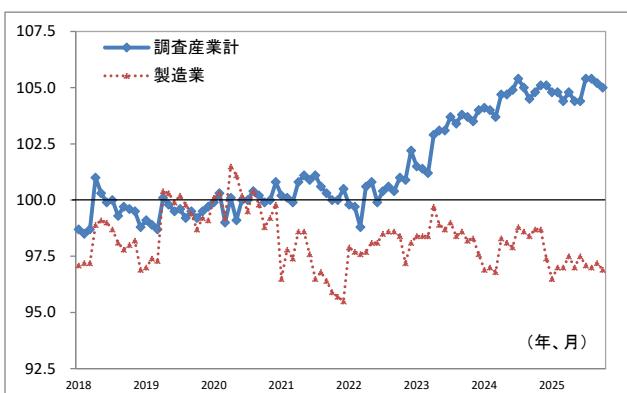


6. 雇用

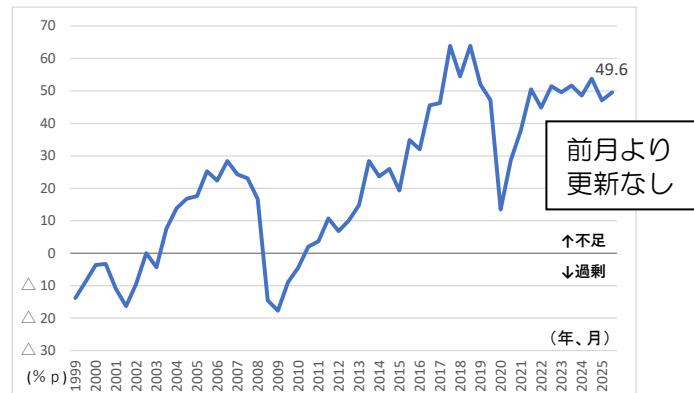
【現状】<持ち直しに足踏みがみられる>

- 10月の常用雇用指数は105.0で、前年比+0.2%と3か月連続の上昇となった。製造業は96.9で、前年比△1.8%と7か月連続の低下となった。
- 当社調査（11月実施）では、54.7%の企業が人員は「不足・やや不足」と回答し、過不足感は+49.6と高水準でほぼ横ばい。法人企業景気予測調査（11月実施）では、12月末の従業員数判断BSIが34.6%ポイントの「不足気味」超で、前回9月末に比べ「不足気味」超幅は拡大。
- ハローワークにおける11月の有効求人倍率（季調済）は1.17倍で、前月比+0.01ポイント。有効求人人数（原数値）は前年比+0.1%で3か月連続の増加、有効求職者数（原数値）は△3.4%で3か月連続の減少。新規求人倍率（季調済）は1.88倍となり、前月比△0.21ポイントと2か月ぶりの低下となった。
- 雇用保険の基本手当受給者実人員（11月）は、前年比+1.1%で12か月連続の増加となった。
- 求人情報・転職サイトdodaによると、中部地域の12月の転職求人倍率は2.97倍となり高水準。

■常用雇用指数（2020年=100）



■人員の過不足感（不足割合－過剰割合）

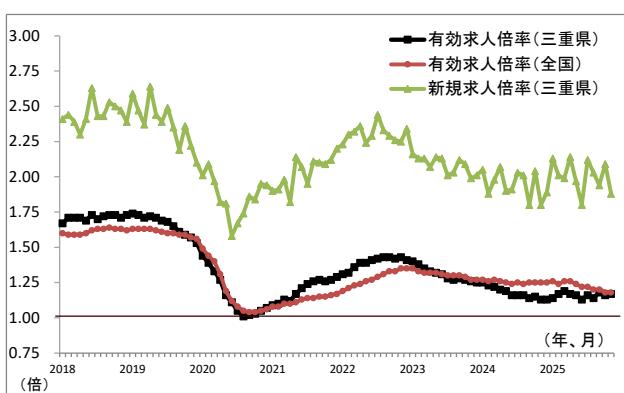


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員＋パートタイム労働者）を指数化したもの。2024年1月分公表時に、ベンチマーク更新に伴い過去に遡って改訂されている。

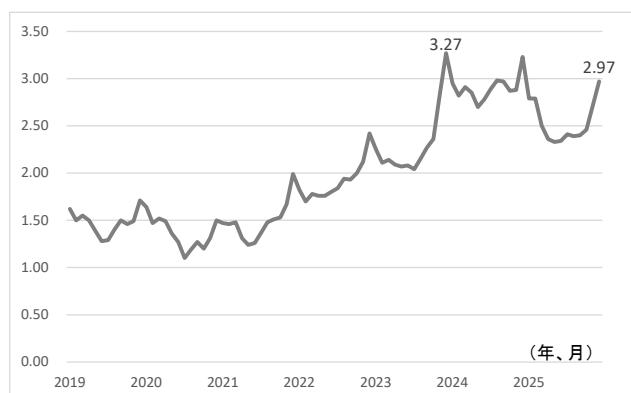
※人員の過不足感＝（不足＋やや不足の割合）－（過剰＋やや過剰の割合）。各年1月と7月。25年最新値は11月。

資料：三重県「毎月勤労統計調査」、当社「景況調査」「業況に関する調査」

■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）



■doda 転職求人倍率（中部地域）



※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。

※doda 転職求人倍率は、doda の会員登録者（転職希望者）1名に対して、中途採用の求人が何件あるかを算出した値。

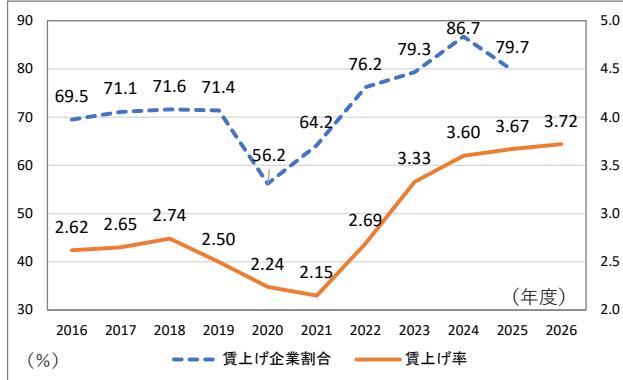
資料：三重労働局「一般職業紹介状況」、パーソルキャリア（株）「doda 転職求人倍率データ」より当社作成

7. 賃金

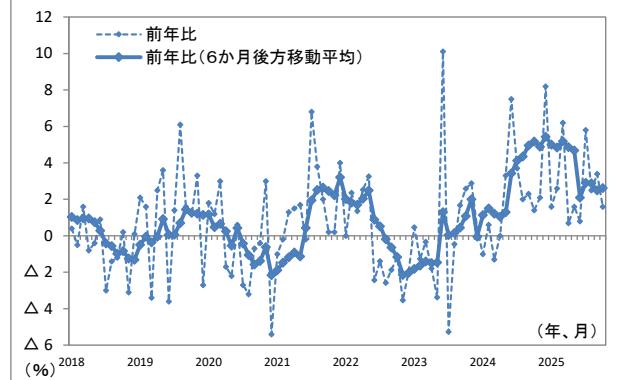
【現状】<持ち直している>

- 当社調査（7・11月実施）では、25年4～7月に賃金を「引き上げた」企業は79.7%と高水準で、賃上げ率は、25年度（7月時点）は3.67%、26年度（11月時点）は3.72%と上昇の見通し。
- 10月の名目賃金指数（現金給与総額）は、前年比+1.6%と18か月連続の上昇。

■賃上げ企業割合・賃上げ率（当年度）



■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



※賃上げ企業割合は、当年度に賞与等を含む賃金を引き上げた企業の割合。24年度までは当年度1月時点、25年度は7月時点、26年度は25年11月時点の見通し。

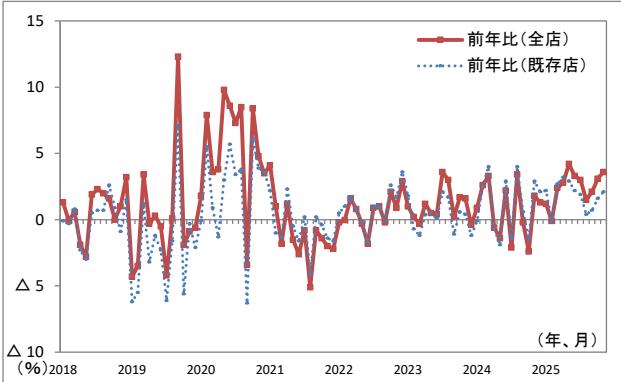
※事業所規模5人以上、2020年=100。現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。
資料：賃上げ企業割合と賃上げ率は当社「景況調査」「業況に関する調査」。賃金指数は三重県「毎月勤労統計調査」。

8. 個人消費

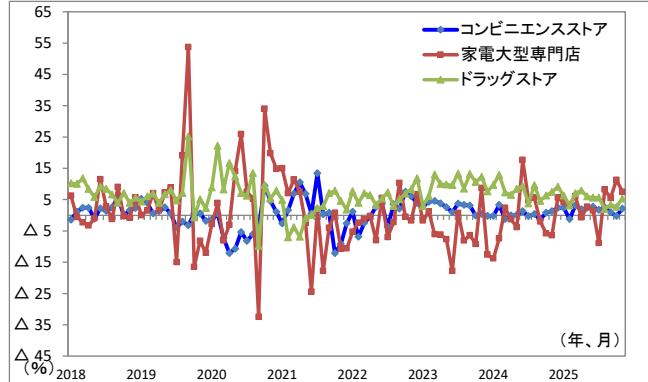
【現状】<持ち直している>

- 当社調査（11月実施）では、節約意識が高まった人の割合が74.6%となり、25年5月(85.2%)より低下し改善した。
- 11月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比+3.6%）、既存店（+2.1%）とも9か月連続の増加。
- 11月のドラッグストア販売額（+5.3%）は前年比54か月連続の増加、家電大型専門店（+7.5%）は4か月連続の増加、コンビニエンスストア販売額（+2.1%）は2か月ぶりの増加となつたが、ホームセンター販売額（△0.5%）は5か月連続の減少となつた。
- 11月の乗用車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）（+3.3%）は前年比2か月ぶりの増加。普通（△11.8%）は3か月連続の減少となつたが、小型（+42.9%）は2か月ぶりの増加、軽（+2.9%）は5か月連続の増加となつた。
- 11月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（+23.6%）は前年比3か月連続の増加。
- 12月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、津市）は、前年比+1.8%となり上昇幅は縮小。

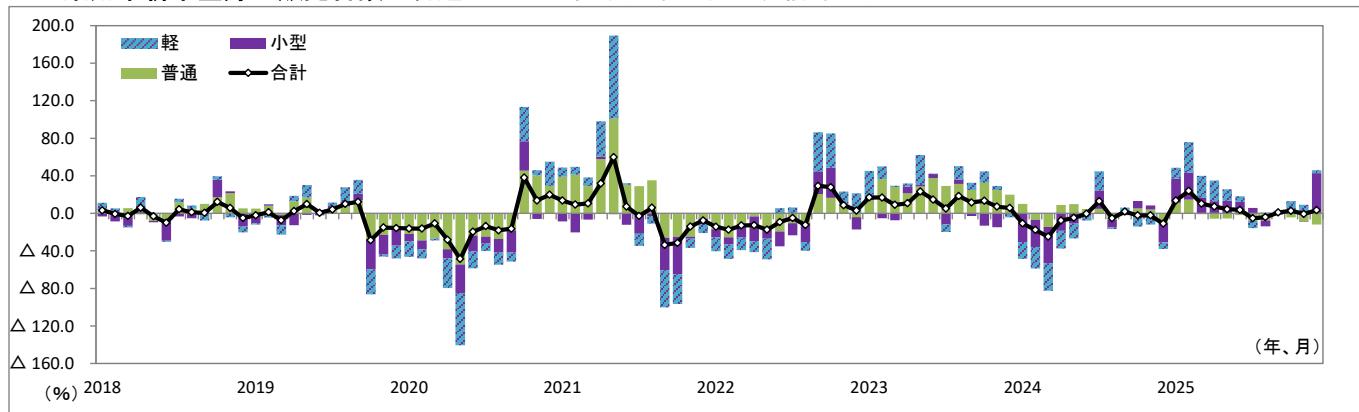
■百貨店・スーパー販売額（前年比）



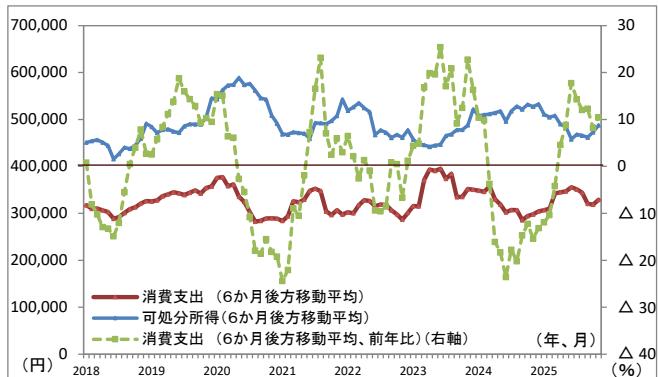
■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



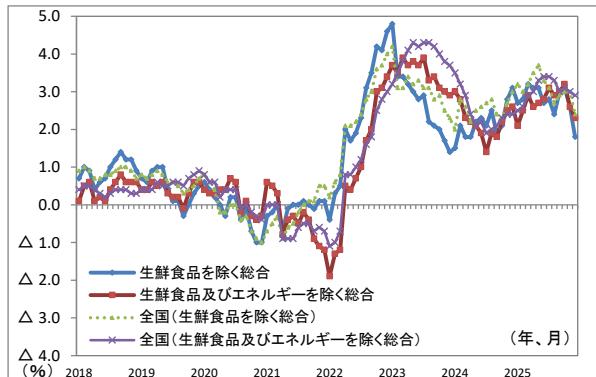
■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）



■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国、前年比）

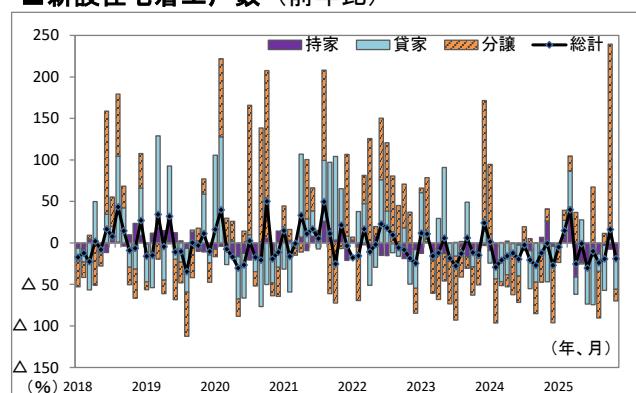


9. 住宅投資

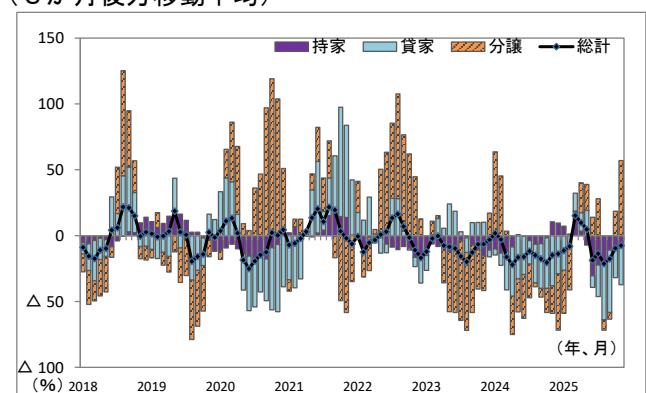
【現状】<弱含んでいる>

○11月の新設住宅着工戸数は、前年比△19.1%で2か月ぶりの減少となった。3か月後方移動平均では△7.5%と6か月連続の減少となった。持家（△15.1%）は8か月連続の減少、貸家（△40.8%）は2か月ぶりの減少、分譲（△14.0%）は3か月ぶりの減少となった。床面積（△18.7%）では2か月ぶりの減少となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）

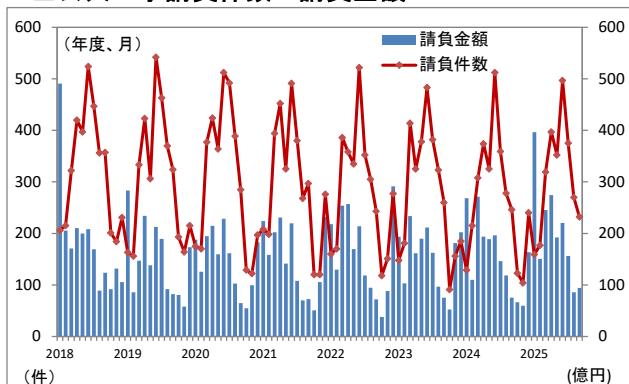


10. 公共投資

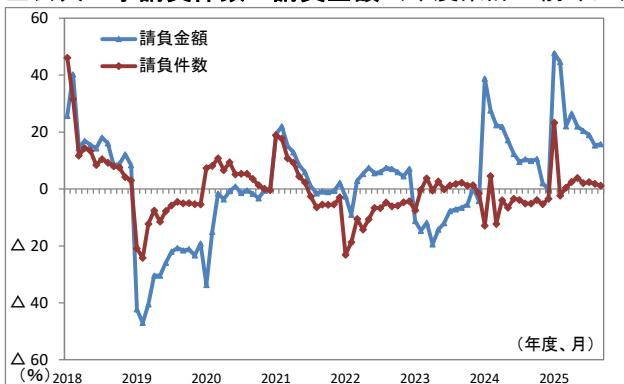
【現状】<持ち直しの動きがみられる>

- 12月の公共工事請負件数は前年比△5.7%の減少も、請負金額は+24.9%の増加となった。25年4月からの年度累計請負金額では、前年比+15.8%の増加となった。
- 年度累計請負金額について、発注者別にみると、中日本高速道路(株) (△49.8%)、日本郵便(株) (△88.3%) などが減少したが、市 (+22.5%)、県県土整備部 (+17.5%)、町 (+42.1%)、県企業庁 (+61.2%) などは増加した。工事場所別では、鈴鹿市、いなべ市、亀山市などが減少したが、津市、伊勢市、熊野市などは増加した。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額（年度累計・前年比）



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）

※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他

資料：東日本建設業保証(株)

<トピックス>

- ◆ イオンリテール（千葉）は12月26日、津市桜橋の旧イオン津ショッピングセンター跡地に26年秋に「そよら津桜橋」を出店すると発表。敷地面積約40,920m²、2棟各2階建て。津駅から徒歩約10分、国道23号線に近接し、津市中心部を商圈とする。「そよら」は小商圈の都市型ショッピングセンターで、県内では「そよら鈴鹿白子」に次いで2店舗目となる。
- ◆ 三重県が1月16日に発表した、年末年始（25年12月27日～26年1月4日）の県内主要観光施設（22施設）の観光入込客数は、延べ161万人で前年同期比0.04%増とほぼ横ばいだった。県は、日並びの関係で1月3日が帰省日と重なり、正月三が日の入込客数が前年より減少した施設が多くかったとみている。なお、伊勢神宮の正月三が日の参拝者数は42万7千人となり前年を2.5%上回った。
- ◆ 近畿日本鉄道（大阪）は1月16日、名古屋線、山田線、鳥羽線、大阪線で、新型一般車両1A系の運行を開始した。名古屋線では28年ぶりとなる新型一般車両となる。コーポレートカラーである青色・白色のツートンカラーで、ベビーカーやスーツケースなど大型荷物対応スペースを備えた座席「やさしば」や、長時間利用客の利便性向上のため多目的トイレを設置した。
- ◆ 自動車用部品等を製造する三ツ知（愛知）と子会社の三ツ知製作所（松阪）、松阪市の3者は1月22日、トンネル工事などで使われる土木工事用クイックジョイント（継ぎ手）の生産強化に向け、松阪市内の同製作所本社工場に約5億円の設備投資を行う立地協定を締結した。リニア中央新幹線のトンネル工事などによる需要拡大を見据える。

三重県主要経済指標

	景気動向指数C I (先行) (2020年=100)		景気動向指数C I (一致) (2020年=100)		業況判断BSI (年度半期)		景況判断BSI (年度四半期)	鉱工業生産指数 (2020年=100)		鉱工業在庫指数 (2020年=100)			
					製造業	非製造業		*1 *2	前月比	*1 *2	前月比		
		前月差		前月差									
2022年	—	—	—	—				105.5	0.8	92.6	5.3		
2023年	—	—	—	—				100.3	△ 4.9	93.9	1.4		
2024年	—	—	—	—				100.5	0.2	85.6	△ 8.8		
24年 3月	110.6	0.1	112.7	0.4	上 ↑ 6.6	5.8	8.0	△ 7.2	89.5	△ 0.1	83.1	△ 0.2	
4月	113.2	2.6	117.0	4.3	上 ↑	4.6	△ 13.6	3.9	101.5	13.4	83.5	0.5	
5月	115.7	2.5	119.8	2.8	△ 1.4	3.7	△ 4.6	△ 4.9	116.7	15.0	83.7	0.2	
6月	114.3	1.8	116.1	1.7	116.1	3.7	△ 4.6	△ 13.6	98.1	△ 15.9	85.8	2.5	
7月	116.1	1.8	117.8	1.7	117.8	1.7	△ 4.6	3.9	105.4	7.4	84.0	△ 2.1	
8月	113.4	△ 2.7	116.8	△ 1.0	116.8	△ 1.0	△ 4.6	2.5	103.3	△ 2.0	87.5	4.2	
9月	112.5	△ 0.9	115.2	△ 1.6	115.2	△ 1.6	△ 4.6	3.9	103.1	△ 0.2	91.9	5.0	
10月	114.5	2.0	117.3	2.1	117.3	2.1	△ 4.6	3.9	105.3	2.1	85.3	△ 7.2	
11月	112.6	△ 1.9	113.2	△ 4.1	113.2	△ 4.1	△ 5.9	△ 16.1	3.1	97.3	△ 7.6	86.6	1.5
12月	114.5	1.9	r 114.6	1.4	r 114.6	1.4	△ 5.9	△ 16.1	3.1	100.6	3.4	86.8	0.2
25年 1月	116.1	1.6	115.5	0.9	115.5	0.9	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	98.2	△ 2.4	83.4	△ 3.9
2月	114.8	△ 1.3	r 117.5	2.0	r 117.5	2.0	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	98.9	0.7	84.0	0.7
3月	116.3	1.5	r 118.6	1.1	r 118.6	1.1	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	100.6	1.7	83.4	△ 0.7
4月	r 111.9	△ 4.4	r 119.5	0.9	r 119.5	0.9	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	101.3	0.7	88.8	6.5
5月	117.0	5.1	r 121.4	1.9	r 121.4	1.9	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	117.3	15.8	99.1	11.6
6月	113.1	△ 3.9	119.2	△ 2.2	119.2	△ 2.2	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	103.3	△ 11.9	95.9	△ 3.2
7月	116.4	3.3	120.6	1.4	120.6	1.4	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	99.7	△ 3.5	94.1	△ 1.9
8月	r 115.2	△ 1.2	117.4	△ 3.2	117.4	△ 3.2	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	97.1	△ 2.6	92.3	△ 1.9
9月	r 117.0	1.8	r 123.0	5.6	r 123.0	5.6	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	109.6	12.9	95.5	3.5
10月	120.4	3.4	124.9	1.9	124.9	1.9	△ 7.0	△ 9.5	△ 3.7	110.8	1.1	89.1	△ 6.7
11月	—	—	—	—	—	—	△ 5.3	△ 4.5	△ 3.7	102.3	△ 7.7	86.8	△ 2.6
12月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

資料出所: 三重県政策企画部統計課、株式会社百五総合研究所、津財務事務所、三重県政策企画部統計課

	輸出 (億円)		輸入 (億円)		貨物車販売		非居住用建築物 着工床面積 (m²)	企業倒産 件数 (件)		企業倒産 負債額 (百万円)		
					普通+小型(新車登録台数)	軽(新車販売台数)		件数	前年比	件数	前年比	
	*3	前年比	*3	前年比	(台)	前年比	(台)	前年比	(台)	前年比		
2022年	11,034	21.3	26,489	65.0	5,222	△ 3.4	9,111	13.0	786,825	0.5	65	13,716
2023年	11,246	1.9	24,470	△ 7.6	5,207	△ 0.3	8,650	△ 5.1	553,076	△ 29.7	130	12,435
2024年	11,481	2.1	25,202	3.0	4,451	△ 14.5	7,332	△ 15.2	573,926	3.8	135	19,309
24年 3月	947	13.6	2,019	△ 11.1	412	△ 26.2	605	△ 32.2	88,449	122.5	11	1,251
4月	1,063	37.0	2,320	14.6	305	△ 5.3	566	△ 24.8	22,946	△ 63.3	10	4,416
5月	931	17.0	2,161	32.4	326	△ 5.8	535	△ 8.1	58,849	3.3	12	3,592
6月	944	△ 0.4	2,001	16.0	420	△ 9.9	687	23.3	29,853	△ 49.5	9	444
7月	936	△ 0.2	2,183	31.1	498	26.4	630	13.9	63,846	40.0	12	1,389
8月	905	△ 5.8	2,297	18.5	395	△ 7.9	614	△ 4.7	59,064	156.3	18	2,024
9月	887	△ 15.6	2,045	2.9	432	△ 24.1	748	△ 4.0	60,903	55.1	8	951
10月	1,029	△ 19.1	1,945	△ 7.6	387	△ 12.2	796	5.4	40,800	△ 5.7	11	1,170
11月	958	△ 8.1	1,853	△ 22.2	315	△ 29.7	686	△ 13.9	79,862	130.8	10	1,304
12月	1,070	△ 3.5	2,398	△ 2.2	352	△ 18.7	506	△ 35.8	14,117	△ 63.0	15	1,503
25年 1月	833	△ 5.3	2,182	10.5	298	△ 11.6	527	△ 0.9	46,562	30.5	11	535
2月	917	△ 1.6	2,129	6.2	394	44.9	591	38.4	21,364	9.2	11	8,158
3月	945	△ 0.3	1,930	△ 4.4	517	25.5	629	4.0	25,041	△ 71.7	11	284
4月	949	△ 10.6	2,156	△ 7.1	298	△ 2.3	591	4.4	99,344	332.9	7	384
5月	766	△ 17.7	1,362	△ 36.9	318	△ 2.5	545	1.9	57,246	△ 2.7	3	186
6月	994	5.3	1,411	△ 29.5	376	△ 10.5	659	△ 4.1	71,727	140.3	9	440
7月	1,015	8.4	1,431	△ 34.5	414	△ 16.9	752	19.4	32,281	△ 49.4	24	2,673
8月	734	△ 18.8	1,668	△ 27.4	369	△ 6.6	502	△ 18.2	38,718	△ 34.4	7	1,988
9月	945	6.5	1,870	△ 8.6	448	3.7	716	△ 4.3	234,255	284.6	12	491
10月	1,038	0.8	r 1,932	△ 0.7	399	3.1	786	△ 1.3	25,590	△ 37.3	8	506
11月	957	△ 0.2	1,920	3.6	473	50.2	614	△ 10.5	25,808	△ 67.7	8	700
12月	p 985	△ 7.9	p 1,920	△ 19.9	433	23.0	576	13.8	—	—	12	781

資料出所: 四日市税關支署(四日市港)、津港の合計、三重県自動車販売協会、三重県轄自動車協会、国土交通省、株東京商工リサーチ

	常用雇用指数 *5		調査産業計 (2020年=100)		有効		新規求人 倍率 *1*2 (倍)	名目賃金指数 *5 (現金給与総額)				
					求人倍率 *1*2 (倍)	求人 *6 (人)		求職者数 *6 (人)	前年比	求人倍率 *1*2 (倍)	前年比 (2020年=100)	
		前年比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比		*6 (人)	前年比	(2020年=100)	前年比	
2022年	100.4	△ 0.1	98.0	1.1	1.39	34,157	13.2	24,514	△ 2.5	2.30	101.2	△ 0.7
2023年	102.9	2.6	98.6	0.5	1.31	32,153	△ 5.9	24,563	0.2	2.08	101.8	0.6
2024年	104.7	1.7	98.0	△ 0.6	1.17	29,560	△ 8.1	25,167	2.5	1.94	106.4	3.1
24年 3月	103.7	2.5	96.8	△ 1.6	1.22	31,549	△ 9.3	25,072	0.3	1.98	89.3	△ 1.3
4月	104.7	1.7	98.3	△ 1.4	1.20	30,121	△ 7.2	26,833	3.8	2.07	88.7	0.0
5月	104.7	1.6	98.1	△ 0.8	1.19	29,170	△ 6.7	27,207	3.7	1.90	89.9	3.3
6月	104.9	1.7	97.9	△ 0.8	1.16	28,462	△ 9.0	26,675	2.4	1.91	154.1	7.5
7月	105.4	1.6	98.8	△ 0.2	1.16	28,612	△ 7.6	25,821	3.2	2.03	126.5	3.7
8月	105.0	1.5	98.6	0.2	1.16	28,287	△ 7.9	24,991	0.9	2.01	89.7	2.0
9月	104.5	0.7	98.4	△ 0.2	1.14	28,452	△ 8.7	25,089	1.6	1.80	88.4	2.3
10月	104.8	1.1	98.7	0.5	1.15	29,272	△ 7.9	25,475	2.6	2.04	89.7	1.4
11月	105.1	1.5	98.7	0.4	1.13	28,948	△ 8.7	24,534	2.5	1.80	95.4	2.1
12月	105.1	1.1	97.4	△ 0.2	1.13	28,378	△ 8.2	23,070	1.8	1.89	190.6	8.2
25年 1月	104.8	0.7	96.5	△ 0.4	1.14	29,204	△ 7.0	23,373	1.4	2.13	88.2	1.6
2月	104.8	0.8	97.0	0.0	1.17	30,604	△ 4.6	24,243	0.3	2.01	89.8	

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8 (百万円) (既存店)	前年比 (台)	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(円)	前年比
	(2020年=100)	前年比 *11	(2020年=100)	前年比 *11			(台)	前年比	(台)	前年比		
2022年	109.1	0.5	124.9	4.2	308,628	1.0	42,059	△ 7.6	28,780	0.2	308,219	△ 4.5
2023年	96.3	△ 11.8	111.8	△ 10.5	311,883	0.3	48,492	15.3	31,028	7.8	372,845	21.0
2024年	98.4	0.3	108.9	△ 3.7	314,184	1.1	46,394	△ 4.3	27,595	△ 11.1	303,304	△ 18.7
24年3月	99.0	△ 5.5	110.6	△ 1.3	25,629	4.0	4,851	△ 22.3	2,472	△ 29.6	383,931	△ 37.6
4月	100.0	△ 1.0	113.6	2.0	24,722	△ 0.7	3,398	△ 0.4	1,824	△ 18.8	266,437	△ 37.6
5月	89.4	△ 3.1	100.8	△ 2.1	25,292	△ 1.9	3,224	2.8	1,826	△ 15.8	290,563	12.9
6月	98.1	3.0	106.8	△ 4.1	25,599	2.9	3,954	2.4	2,202	△ 5.1	264,947	△ 29.2
7月	102.9	6.0	110.6	△ 4.6	26,204	△ 1.4	4,259	9.0	2,619	20.5	309,537	6.4
8月	91.3	0.0	102.3	△ 6.8	27,935	4.0	3,221	△ 7.3	2,062	△ 1.7	326,660	△ 4.8
9月	101.0	5.0	109.1	△ 6.5	24,727	0.6	4,310	△ 0.7	2,967	6.0	254,631	△ 19.4
10月	107.7	10.9	114.4	△ 0.7	25,350	△ 1.5	4,233	6.1	2,341	△ 14.2	319,472	△ 25.7
11月	104.8	6.8	116.7	△ 3.2	26,301	2.9	4,210	4.2	2,355	△ 11.9	311,963	△ 12.8
12月	101.0	6.1	111.4	△ 1.3	30,950	2.1	3,312	△ 13.5	2,223	△ 7.0	304,039	△ 16.7
25年1月	95.2	3.1	103.8	△ 0.7	27,313	2.2	4,167	15.3	2,650	11.4	325,085	16.2
2月	101.0	8.3	119.7	12.8	24,445	△ 0.1	4,514	18.6	3,082	32.6	345,750	5.5
3月	104.8	5.9	123.5	11.7	26,250	2.7	5,032	3.7	3,038	22.9	447,614	16.6
4月	104.8	4.8	117.4	3.3	25,423	3.2	3,379	△ 0.6	2,224	21.9	336,746	26.4
5月	96.2	7.6	103.8	3.0	26,345	2.9	3,227	0.1	2,048	12.2	322,745	11.1
6月	103.8	5.8	116.7	9.3	26,437	2.2	4,049	2.4	2,333	5.9	357,241	34.8
7月	104.8	1.8	125.0	13.0	26,996	1.9	4,101	△ 3.7	2,413	△ 7.9	296,490	△ 4.2
8月	95.2	4.3	113.6	11.0	28,356	0.4	2,992	△ 7.1	2,076	0.7	303,154	△ 7.2
9月	102.9	1.9	125.8	15.3	25,241	0.7	4,328	0.4	3,017	1.7	306,824	20.5
10月	108.7	0.9	125.8	10.0	26,124	1.6	4,109	△ 2.9	2,641	12.8	324,166	1.5
11月	—	—	—	—	27,236	2.1	3,953	△ 6.1	2,570	9.1	385,731	23.6
12月	—	—	—	—	—	—	3,429	3.5	2,287	2.9	—	—

資料出所 三重県政策企画部統計課 経済産業省 三重県自動車販売協会 三重県軽自動車協会 総務省統計局

	新設住宅着工戸数 (戸)	公共工事請負金額 (億円)		消費者物価指数				
		*10		(津市・生鮮食品及びエネルギーを除く総合)				
		(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比	
2022年	9,912	△ 2.9	1,945	7.1	102.2	2.3	100.6	0.9
2023年	9,224	△ 6.9	1,862	△ 4.2	105.0	2.7	104.1	3.5
2024年	7,751	△ 16.0	1,858	△ 0.2	107.4	2.2	106.4	2.2
24年3月	635	△ 20.9	202	△ 30.6	106.2	1.8	105.5	2.3
4月	610	△ 15.9	268	38.8	106.8	1.8	106.1	2.2
5月	674	△ 12.2	110	6.5	107.0	2.2	106.0	2.1
6月	675	△ 19.5	271	15.9	107.2	2.3	105.9	1.9
7月	732	△ 2.7	194	20.1	107.6	2.1	106.2	1.4
8月	701	△ 20.6	189	△ 0.4	108.0	2.5	106.7	1.9
9月	663	△ 27.0	196	△ 7.2	107.4	1.9	106.7	1.8
10月	645	△ 12.0	146	△ 9.9	108.1	2.1	107.3	2.2
11月	634	△ 0.6	118	22.6	108.6	2.8	107.7	2.5
12月	524	△ 27.2	75	0.0	109.1	3.1	107.9	2.6
25年1月	718	△ 5.2	67	27.3	109.0	2.7	107.6	2.1
2月	575	14.8	60	△ 67.0	109.1	2.8	108.0	2.5
3月	889	40.0	163	△ 19.1	109.6	3.2	108.5	2.9
4月	455	△ 25.4	397	47.7	110.1	3.1	108.8	2.6
5月	669	△ 0.7	151	37.0	110.3	3.1	108.8	2.7
6月	470	△ 30.4	245	△ 9.5	110.1	2.7	108.9	2.8
7月	659	△ 10.0	274	41.5	110.6	2.8	109.4	3.1
8月	534	△ 23.8	192	1.7	110.6	2.4	109.8	2.9
9月	534	△ 19.5	220	12.3	110.6	3.0	109.9	3.0
10月	750	16.3	156	7.1	111.4	3.1	110.7	3.2
11月	513	△ 19.1	86	△ 27.5	111.4	2.6	110.5	2.6
12月	—	—	94	24.9	111.1	1.8	110.3	2.3

資料出所 土地交通省 東日本建設業保証機 総務省統計局